阪南市自治基本条例検証　重点テーマ選定

自治基本条例検証の視点

情報を届ける

- 災害対策
- 移動支援や買い物支援
- 誰もが情報を受け取れる環境づくり
- 多角的な視点による広報
- 現場見学の重要さ
- 発信頻度や場

情報の共有

- 自治会発行広報誌等、地域による取組のバラつき
- 自治会長の任期問題

情報の管理

- 行政・社協・団体等が持参する情報の管理
- 医療データの共有
- コンビニでの戸籍交付の利便性とセキュリティの適正管理

担い手

- 幼少期からのボランティア参加
- 担い手の活動と成果のアンバランス
- 担い手確保に向けた活動への評価
- 「公的な募集」と口コミ（個人的なつながり）による有効性

地域の活動拠点

- 旧泉鳥取高校や幼稚園・小学校の跡地活用
- 住民センター
- 大阪府や関係機関との連携

地域のつながり

- 「つながり」（ゆるやか）をつくる
- 外部（府、社協、団体）との連携
- 地域による見守り
- 地域に合ったコミュニティづくり